

グローバル行動規範

グローバル行動規範は
私たちの共有バリューを創りだします。

私たちが何者であるか、それは
私たちのバリュー
にかかっています。

私たちは、

誠実で尊重しあうチーム作りを実践し、

業界を率いる行動力と勇気を持って、

正しい行いにより、クライアントとの関係を築き上げます

EY 構成員の皆様へ

EY は、より良い社会の構築に貢献していきます。それが私たちの存在意義だからです。

私たちのグローバル行動規範とバリューは、この理念(Purpose)を支持し、すべてのステークホルダーに、あらゆる業務において卓越した高品質なサービスを提供することをコミットしています。

毎日、我々は誰しもが難題に直面し、困難な選択を迫られます。要求水準が高く複雑でグローバル化したビジネス環境で働くということは、私たちの生活のほんの一部にすぎません。しかし、これらの難題にあたっての誠実さやプロ意識によって、私たちの評判が決まります。

我たちのグローバル行動規範は、ビジネス遂行の明確なスタンダードを作り出します。チャレンジすべき課題や直面する難しい選択に対処するガイドとして倫理的なフレームワークを各人に提供するものです。これは私たちのバリューにも反映されます。

そのため、私たち全員がこの行動規範に従うことが大切なのです。倫理的な諸問題が生じた時はいつでも、各人はバリューを行動に反映させるように振舞う責任があります。多くの問題は各国にて解決できますが、グローバル規模での追加的なサポートやリソースに関する情報は、この規範に記されています。また、実務の事例を通して、直面するかもしれない状況も見出すことができます。

EY 構成員がグローバル行動規範を遵守するのは不可欠です。この行動規範に従うことにより、倫理的な振る舞いや高品質なサービスをコミットする強固な決意を明確に表明することができます。

このようにして、EY の評判を守ったり、高めたりします。ひいては、構成員、クライアント、およびコミュニティの為に、より良い社会の構築を目指して、重要な役割を果たすことができます。

Mark A, Weinberger
会長兼 CEO

EY グローバル行動規範

EYのグローバル行動規範は、私たちが個人として、またグローバルな組織の一員として、意思決定を行う上で拠り所とすべき倫理上の枠組みを定めたものです。この行動規範は、私たちのバリュー（価値観）と信念を拠り所とし、私たちのあらゆる活動の土台となるものです。

私たちのグローバル行動規範は5つのカテゴリーで構成されています。それぞれのカテゴリーには、EYに所属する全ての者のあらゆる事業領域における行動を導くための指針が盛り込まれています。

1. 互いに協力し合うこと
2. 顧客一辺倒にならず公益を優先すること
3. プロフェッショナルとして誠実に行動すること
4. 客観性と独立性を維持すること
5. 知的資本を尊重すること

EYで働くすべての者は、グローバル行動規範に盛り込まれている指針に則って行動することが期待されています。グローバル行動規範に盛り込まれている指針がよく理解できないときは、適任者と認定された者に相談し、疑問に答えてもらってください。（サポートの依頼先を参照）

コミットメント

グローバル行動規範は、役割、地位、所在国の商慣行に関係なく、EYの全員に適用されます。

- 私たちは、個人のリーダーシップを通じて、また事業活動を通じて、日常業務においてグローバル行動規範を支持・推進します。
- 私たち一人ひとりがグローバル行動規範に盛り込まれた指針に従って行動することを期待されています。必要に応じて、行動規範の適用を補佐する部門に相談すること、アドバイスを求めることを奨励します。
- グローバル行動規範からの逸脱や違反は容認できるものではありません。逸脱や違反に気づいたら、報復を恐れずに、しかるべき同僚か所管の倫理ホットラインへ通報してください。EYは、**違法行為や反倫理的行為を誠実に報告した者に対する差別や報復を黙認することは決してありません。**
- グローバル行動規範に対する違反は、その違反状況によっては、解雇を含む懲戒処分の対象となります。
- グローバル行動規範の原則を理解し、それらを順守することを文章において約束します。

1. 互いに協力し合う

- 私たちは、各位が個人としても、プロフェッショナルとしても、正しいことを行う決意であるとの信頼と確信に基づき、互いの関係を築きます。
- 私たちは率直かつ誠実なコミュニケーションに努めます。
- 個人として、私たちは他のチームメンバーに対して自らの貢献を説明する責任を負います。
- 私たちのクライアントそして個々の発展のために良質なサービスを提供するために、私たちはお互いを信頼しています。
- 私たちは、誠意、敬意、チームワークを育成します。
- 互いに相談し合い、私たちと異なる人たちの視点、私たちの見解に異議を唱える人たちの視点も尊重します。
- 私たちはマルチ文化の併存と多様性を、私たちのグローバルな組織の強みとして歓迎します。それゆえ、私たちは互いに敬意を払い合い、差別、脅迫、嫌がらせのない環境、受容性に富んだ環境の実現に努めます。
- 私たちは同僚がプロフェッショナルとして成長するよう励まし、それを支援します。そして、各自の成果の達成と不断の学習を後押しします。
- 私たちは、定期的な包み隠しのない建設的なフィードバックを求め、またそれを提供します。

2. 顧客一辺倒にならず公益を優先する

倫理、誠意、EYの社会的評判は、どのような顧客関係や対外関係よりも重要です。

顧客に対して...

- 私たちはプロフェッショナルとして、私たちに寄せる信頼を守り抜く決意です。
- 高品質のサービスを提供するため、私たちは顧客固有の問題とニーズをしっかりと理解するように努めます。
- 私たちは忍耐と勇気をもって困難な仕事に取り組み、顧客に歓迎されない情報でもためらわずに伝えます。
- 私たちは職員を守るため、職員に不当な圧力を与えるクライアント、また、プロフェッショナルとしての業務を脅して遂行不可能とするクライアントに対しては業務を受けません。

規制当局に対して...

- 私たちはプロフェッショナルたる私たちに適用される諸規則を順守します。私たちのプロフェッショナルとしての行動を監督する規制当局とは積極的に協力し、諸規則や基準が変化する市場のニーズに常に適合するものとなるように努めます。

その他に対して...

- 私たちは全ての非論理的また違法な業務を拒否します。
- 私たちはグローバル行動規範と相容れない基準をもつ顧客等を避け、業務を受嘱しないようにします。
- 私たちは公共の利益に係わる問題において、妥当な場合には、同業他社と連携します。
- 良好で持続性のある社会を活動的に支援するために、私たちの組織的な責任を理解します。

3. プロフェッショナルとして誠実に行動する

プロフェッショナルとしての誠意...

- 私たちは、プロフェッショナルとしての行動に適用される法律、規制、基準を順守します。現地の法律や商慣行と EY の基準が相容れないときは、直ちに適任者と認定された者から助言と支援を仰ぎます。
- 私たちは、公明正大に、誠意をもって業務を遂行します。ファシリテーションペイメントを含め、どのような種類の賄賂であろうと、受け入れることはありません。
- 私たちは EY の公約を支援します。プロフェッショナルとしての業務やその他に対して EY が取っているポジションを正確に伝えます。
- 私たちは相談することを企業文化として推進します。倫理上の疑問があれば述べ、適切な相談を通じて問題を解決します。問題を隠したり黙殺したりしません。
- 微妙な倫理上の問題を処理するための倫理ホットラインを提供します。
- EY のポリシーと手続きを理解し、順守します。

競争力のあるアプローチ...

- 私たちの競争優位性は卓越したプロフェッショナルとしてのアドバイスと高品質なサービス提供を通じて達成されるものと認識しています。
- 私たちは競争において、公正で誠実な行動の必要性を認識し、精力的に競争します。
- 私たちは、競争相手に対して、法律違反となる共謀、市場競争に反する行動はとりません。

業務の文書化...

- 私たちは、EY の方針、該当する法律やプロフェッショナル規定に則り、顧客との契約や事業活動に際して適切な書類を作成します。
- 私たちは、書類にいかなる違法性、不正があろうと、そのような書類を破棄・改ざんすることはありません。また、破棄・改ざんを勧めることもありません。

私たちの報酬...

- 私たちは契約条件及びプロフェッショナルとしてのルールに則り、提供したサービスに対して適正な報酬を求めます。

時間と費用...

- 私たちは実働時間と実費を報告します。
- 私たちは、EY の会社方針に従い、また別途取り決めがある場合は顧客の経費処理方針に従い、費用を負担します。

4. 客観性と独立性を維持する

客観性 ...

- プロフェッショナルとして責務を果たす上で客観性と独立性が決定的に重要との認識に立ち、私たちは客観性と独立性を維持することを確約します。
- 私たちはプロフェッショナルとしての猜疑心をもって業務に取り組みます。
- 清廉潔白であってこそ、顧客その他からの不当な圧力に抵抗する勇気をもつことができます。
- 個人として、プロフェッショナルとして、利益相反行為に注意を払う必要があります。利益相反行為があるときには直ちに適切な措置を講じ、それを解決・管理しなければなりません。
- 私たちは、結論やアドバイスに影響を与えようとする意図で提供された金品は受け取りません。

独立性 ...

- 私たちは EY の独立性の原則を順守(家族に適用する制約を含む)します。時にはこの独立性の原則がプロフェッショナルとして求められる要件や法的要件よりも厳しいものになる可能性があります。
- 私たちは客観性や独立性を損なう関係—損なう可能性があると思われる関係—を回避します。
- 私たちは独立性を継続的にモニターします。

5. 知的財産を尊重する

- 私たちは、顧客・第三者から得た機密情報を尊重・保護します。また、私たちの個人情報を、現地の法律とプロフェッショナルとしての基準に則って尊重・保護します。
- 私たちは書類、コンピュータとその他の個人情報または機密情報を含むデータを保護するため未然の防止措置をとっています。
- 私たちは私的利益のために機密情報を利用しません。
- 私たちは知的財産を適切な方法で取得、創造、保護します。私たちは知的財産の利用と複製に対する規制を尊重します。
- 私たちは EY のポリシー、法的義務、プロフェッショナルとしての責務に則り、社内外で得たナレッジ(知識)を利用し、共有します。
- 私たち一人ひとりに、プロフェッショナルとして最新のナレッジを保持する義務、EY におけるナレッジの蓄積に寄与する最善の方法(ベストプラクティス)を共有する義務があります。

サポートの依頼先

このグローバル行動規範の策定に際して、EY の経営陣は起こり得るあらゆることをカバーできる規範はないとの観点から、日常業務の中で起こる状況の改善には、随時、他者からのアドバイスやサポートを得る必要があるとの認識に至りました。

私たちはEYにおいて長年にわたって相談するという企業文化を育成してきました。既存の組織機構に加え、私たち一人ひとりが行動規範に盛り込まれたコミットメントをきちんと果たせるように、このたび相談とアドバイスのためのサポートネットワークを創設しました。

アドバイスとガイダンスを得るには、以下の窓口にご相談ください。

- グローバル、サービス・ライン、エリア、国レベルで指名された Quality リーダー、RM リーダー (Q&RM 委員会)
- グローバル組織内のあらゆるレベルのピープル・チーム(人事)
- 皆さんが所属するエリアや国の法務や顧問弁護士
- 品質管理本部(コンプライアンス、業務管理、審査)
- オンラインの情報やデータベースを含む、グローバル、日本エリア(国)内で策定されたポリシーや手続き
- 倫理ホットライン(内部通報制度)

自問してみましよう

このグローバル行動規範は、EY の全員に正しい意思決定のための倫理的枠組みを提供するものです。行動規範に盛り込まれている指針は明確な基準となるものであり、それは、プロフェッショナルとして私たちが全活動領域で行動の拠り所にするバリューの、基礎をなすものです。

私たちはどのようにこの行動規範を実践したらいいのでしょうか。どうすれば私たち一人ひとりがこの行動規範のコミットメントを果たせるでしょうか。

正しい行動かどうか確証がもてないとき、難しい問題に直面したときは、ご自身に以下の質問を試みてください。適切な行動を決定する上で役立つことと思います。

1. 適切な方法で同僚に相談したか？
2. 私の行動は合法的か、プロフェッショナルとしての基準に則しているか？
3. 私自身の、EY の、顧客の誠意を台無しにするようなことはないか？
4. EY のバリューを堅持しているか？
5. 私は自分が扱って欲しいと思う方法で相手を扱っているか？
6. 選択可能な範囲内で最も倫理的な行動を選択したか？自分の選択に納得できるか？
7. 自分の意思決定を文書にしたとき、それをレビューする者(審査)は私がとった行動に同意するか？
8. 私の行動は EY の社会的評判を損なうことはないか？